



LOVE LIVE LEAD

渋谷 × 北区

LOVE LIVE

渋沢 × 北区

2024年に一万円札の顔となることが決まった**渋沢翁**。

「**日本資本主義の父**」と言われ

500近い会社の設立・育成に尽力した**渋沢翁**は、幕末から昭和初年までの凄まじい社会の変化の中で、行動や立場を自ら進んで変えて日本を導いて行った。

変わることを恐れなかった **渋沢翁**は、

人生の拠点を**北区、飛鳥山**の地においていた。

北区を**愛し/LOVE、**

北区に**住居を構え/LIVE、**

北区で**日本を導いた/LEAD。**

本プレスキットでは北区と**渋沢翁**の関係、

北区で新たに始まる**渋沢翁**をテーマとした

シティプロモーションについて紹介していく。



LEAD

渋沢栄一

1840 ~ 1931

変わることを恐れなかったその人生。

渋沢翁は1840年、現在の埼玉県深谷市の農家に生まれました。家業の畑作を手伝う一方、幼い頃から「論語」などを学びます。「尊王攘夷」思想の影響を受けた渋沢翁は、高崎城を乗っ取り、横浜外国人居留地を襲撃する計画を立てましたが、中止して京都へ向かいます。郷里を離れた渋沢翁は一橋慶喜に仕えることになり実力を発揮し、次第に認められていきます。27歳の時**パリの万国博覧会**を見学するほか、欧州諸国の実情を見聞し、先進諸国の社会の内情に広く通ずることができました。明治維新となり欧州から帰国した渋沢翁は「**商法会所**」を静岡に設立、その後明治政府に招かれ民部大蔵省の一員として新しい国づくりに深く関わります。1873年に大蔵省を辞した後、渋沢翁は**民間経済人**として活動しました。第一国立銀行を拠点に株式会社組織による企業の創設・育成に力を入れ、また「**道徳経済合一説**」を説き続け、生涯に約500もの企業に関わった他、約600の教育機関・社会公共事業の支援並びに民間外交に尽力しました。世界の動きを一早く読み取り、それに合わせるように立場を変えていき、日本を導いて1931年91歳でその生涯を閉じました。

その人生の拠点となった地は、**東京都北区**でした。

年表	和暦	年齢	主な出来事
1840	天保11年	0	2月13日、現在の埼玉県深谷市血洗島に生まれる。
1864	元治1年	24	一橋慶喜に仕える。
1867	慶応3年	27	徳川昭武に従ってフランスへ出立(パリ万博使節団)
1868	明治1年	28	明治維新によりフランスより帰国、静岡で慶喜に面会。
1869	明治2年	29	明治政府に仕える。
1873	明治6年	33	抄紙会社創立(後に王子製紙会社・取締役会長)。
1877	明治10年	37	王子西ヶ原に別荘を建てはじめる。
1879	明治12年	39	グラント將軍(元第18代米国大統領) 歓迎会
1887	明治20年	47	日本煉瓦製造会社創立・発起人(後に取締役会長)。
1901	明治34年	61	東京・飛鳥山邸を本邸とする。
1908	明治41年	68	アメリカ太平洋沿岸実業家一行招待。
1931	昭和6年	91	11月11日永眠。

飛鳥山に約4,000坪の土地を購入
別荘として活用
飛鳥山で過ごす

渋沢翁が愛した北区

～王子製紙の立ち上げ～

明治5年、渋沢翁は製紙事業を官営で行うことを建議し、抄紙会社の設立願書を提出して設立が認可されました。

工場の敷地選定に際しては、渋沢翁自身も各地を調査したあと工場用水の面から王子に決定しました。

王子地域と渋沢翁との関係はまさに同社設立から始まり、渋沢翁は同社を近代的な機械工場の模範として広く知らしめたいと考えていたそうです。

明治初年の渋沢翁の考え方に「職住接近」というものがありました。王子製紙工場を構え、その工場を見晴らすために37歳の時に飛鳥山の地に4,000坪の土地を購入し、別荘として構えました。

そして61歳で飛鳥山に本邸を構え、生涯をこの地で過ごしました。

渋沢翁が住んだ北区

～本邸を構えた飛鳥山～

～北区に残る、抄紙会社の足跡～



紙の博物館

洋紙発祥の地である北区王子に設立され、55,000点の資料と図書を展示公開する世界でも数少ない紙専門の総合博物館。



洋紙発祥の地碑

抄紙会社の工場創立80周年を記念し、昭和28年にJR王子駅前の跡地に建てられた。

～飛鳥山に残る、渋沢翁の史跡～



旧渋沢庭園

渋沢翁の邸宅跡地の庭園が、現在飛鳥山公園の一部として開放されています。



青淵文庫

1925年に竣工し、渋沢翁の書庫としてまた接客の場としても使用された重要文化財。



晩香廬

国内外の賓客を迎えるレセプションルームとして使用された重要文化財。



渋沢翁の全身像

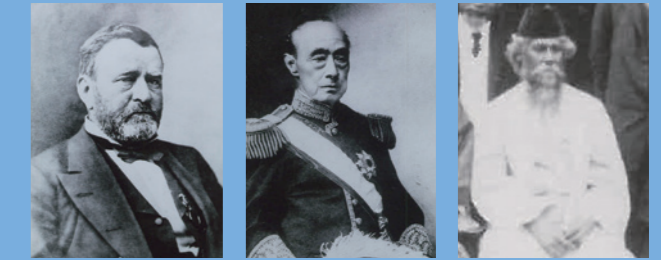
晩香廬を見渡すように佇む、北区に残る唯一の渋沢翁の全身像。

時代の「始動」の拠点となった北区

～この地で迎えた要人たち、渋沢翁が導いた地域～

渋沢翁の飛鳥山邸は単なる私邸にとどまらず、多くの賓客を迎える接待の場としても利用されました。最初の海外からの来客はグラント將軍でした。以降、渋沢翁は飛鳥山邸に国の内外や分野を問わず多くの賓客を迎え、重要な会議の場、また民間外交の場として活用し新たな時代を「始動」させていく拠点となっていたのが、まさにこの北区という地でした。

飛鳥山邸で迎えた要人たち



左から、グラント將軍（アメリカ第18代大統領）、徳川慶喜（第15代徳川將軍）、タゴール（インド詩人・ノーベル文学賞受賞者）

渋沢翁は日本の近代経済社会の発展に尽力していく中で、王子・滝野川地域施設への助言や寄付なども行い、地域の発展を大事にしました。

滝野川町役場庁舎の新築、滝野川警察署、消防、小学校など、町行政の整備に対して支援をしました。また、滝乃川学園、愛の家、北豊島郡教育会、西ヶ原青年会など地域の社会教育・文化事業にも関わり、その他に西ヶ原互親会など地域住民による自治組織の発展の援助等も行い、北区を新たな時代へ導いていきました。

～飛鳥山に残る、渋沢翁の史跡～



七社神社

江戸時代から旧西ヶ原村の鎮守で、渋沢翁は同村内に飛鳥山邸を構えたことをきっかけに氏子となる。



旧醸造試験所

渋沢翁が設立した日本煉瓦製造会社のレンガで作られた、重要文化財。酒類の醸造試験、酒類醸造講習の実習工場として活躍してきました。



音無橋（音無親水公園）

都市景観100選に入る音無親水公園に掛かる、音無橋。渋沢翁が建築・開通を支援しました。



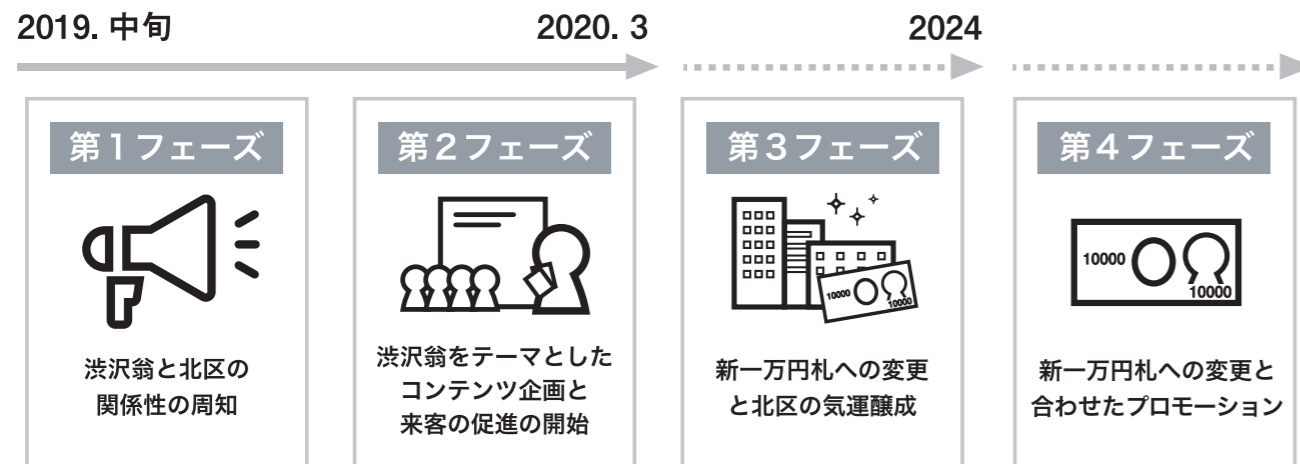
旧古河庭園

第一銀行時代の渋沢翁が相互に支えあった古河市兵衛。その息子の古川虎之助の庭園である、重要文化財。

新たに始まる 東京北区渋沢栄一プロジェクト

変化を恐れず時代に合わせて**変化し続け**、私益ではなく社会の発展の実現のために事業を推進する「**合本主義**」を提唱し、**行政と民間が協力を考える**考えを唱えた渋沢翁。その渋沢翁が人生の拠点とした北区で、新たなシティプロモーションがスタートします。渋沢が残した教えや考え方をベースに、北区と様々な民間団体との公民連携の体制でのシティプロモーションによるブランディングを行い、北区を新たな時代へ導いていきます。

プロジェクトのスケジュール



WEB サイト・問い合わせ先

東京北区渋沢栄一プロジェクト LOVE LIVE LEAD WEB サイト

本プロジェクトに関する情報、プレスキット、新着情報、各 WEB サイトへのリンク等を取り扱っています。

渋沢 北区



スマートフォンからご利用いただけます。

<http://shibusawakitaku.tokyo/>

①プロジェクト全般について

北区政策経営部広報課
シティプロモーション担当

TEL : 03-3908-1102
FAX : 03-3905-3422
住所 : 東京都北区王子本町1-15-22
区役所第一庁舎3階1番

②北区の観光について

東京北区観光協会
渋沢プロジェクト担当

TEL : 03-5390-1166
FAX : 03-5390-1167
住所 : 東京都北区王子1-11-1 北とびあ1階

北区内の渋沢翁関連プロジェクト

北区では渋沢翁に関する様々なプロジェクトが行われています。プロジェクトごとに様々な団体が連携を行い、オール北区で渋沢翁の街を盛り上げています。

北区と深谷市 パネル展示



主催 東京都北区 03-3908-1102

2019年10月1日～11月2日に東京区政会館で、～新一万円札の顔渋沢栄一翁が繋ぐ～北区と深谷市パネル展示が開催されます。「生誕の地」である埼玉県深谷市と「終焉の地」である東京都北区の両市区に今なお残る渋沢翁の足跡を紹介するとともに、それぞれのまちの魅力について展示します。

渋沢栄一街中史料館



主催 きたシティ・いい店 & 老舗の会 03-3943-1790

渋沢史料館のリニューアル工事に伴い、王子の北とびあ17階展望ロビーで、渋沢翁が愛した王子飛鳥山、生涯や事績など渋沢翁に関するパネル展示「渋沢栄一街中史料館」を開催します。

開催予定期間：
2019年10月初旬～2020年3月末

東京商工会議所



URL (北支部)
<https://www.tokyo-cci.or.jp/kita/>
URL (渋沢翁記念事業に関する特設ページ)
<https://www.tokyo-cci.or.jp/shibusawa/>

140年前に渋沢翁が初代会頭となり設立された東京商工会議所。北支部はシティプロモーション・まちづくり分科会を立ち上げ、街の魅力向上に取り組む。その他、東商のホームページでは渋沢栄一記念事業に関する特設ページを開設している。

渋沢栄一クイズラリー



主催 (有) Kプランニング 03-3943-1790

2019年11月3日～12月24日で開催する渋沢栄一のクイズラリー。北区内の老舗の店主達を中心となり、王子・飛鳥山周辺を舞台に街おこしをしよう開催されたもの。クイズを通して渋沢翁を知ることや、店主と地域の歴史や街自慢などを語り合うこともできる。

北区花火会



URL <http://www.hanabi-kita.com/>

主催 北区花火会実行委員会 03-6319-3973

2019年9月28日に開催される、今年で第8回目となる北区花火会。今年は渋沢翁をテーマに北区飛鳥山で近代日本経済の基礎をつくったストーリーを華麗な花火で紹介する。

館長出前講演会



主催 (有) Kプランニング 03-3943-1790

渋沢史料館の館長が地域に出向き、渋沢翁に関して地域に残した事績を解説するミニ講演会。普段会えない館長への質疑応答なども魅力の1つ。

第四回：2019年9月27日18:30～
「渋沢栄一と抄紙会社。紙の話」
定員 35名・会費2千円軽食付き
会場：王子駅前サンスクエア3F

北区内の渋沢翁関連施設

渋沢史料館



URL <https://www.shibusawa.or.jp/museum/>

住所 〒114-0024 東京都北区西ヶ原2丁目16-1

飛鳥山にある渋沢翁の活動を広く紹介する博物館。渋沢翁の生涯と事績に関する資料を収集・展示し、関連イベントなども随時開催中。2020年3月までリニューアル工事のため閉館中。

お札と切手の博物館



URL <https://www.npb.go.jp/ja/museum/>

住所 〒114-0002 東京都北区王子1丁目6-1

王子にあるお札と切手の歴史について学べる博物館。お札の偽造防止技術の歴史や、各世代のお札や切手を知ることができます。現在新一万円札のイメージ図の展示などが行われています。



発行

東京北区渋沢栄一プロジェクト

※渋沢翁の肖像画、及び一部の写真は渋沢史料館所蔵のものとなります。